

平成 30 年 9 月 12 日	資料 1
第 1 回 歯科口腔保健の推進に係る う蝕対策ワーキンググループ	

歯科口腔保健の推進に係るう蝕対策ワーキンググループ 開催要綱

1. 目的

昨今のう蝕の傾向として、乳幼児期はう蝕罹患率が減少傾向にあるものの、それでも罹患率としては高い現状や、都道府県間又は社会経済的要因による格差が生じている実態を鑑みると、今までの対策に加え、一次予防によるう蝕罹患の格差縮小につながる対策が必要である。さらに、高齢期以降のう蝕罹患率が増大していることを踏まえ、特に学齢期以降においても、切れ目なくう蝕対策を提供するため、本 WG において検討する。

2. 検討課題

- う蝕罹患の実態の考え方について
- 効果的な予防対策について（エビデンスに基づく手法の整理、年代別等）
- 次期う蝕関連目標について
- う蝕の健康格差について

3. 構成員

- (1) 別紙に掲げる有識者により構成する。
- (2) 構成員のうち一人を座長として互選により選出する。
- (3) 座長は必要に応じ、関係者の出席を求めることができる。

4. 運営等

- (1) 平成 30 年度中をめどに検討結果をとりまとめ、厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会歯科口腔保健の推進に関する専門委員会に報告する。
- (2) 本ワーキンググループは、原則として公開するとともに、議事録を作成し、公開する。
- (3) 本ワーキンググループは、医政局長が主催し、その庶務は医政局歯科保健課で行う。

歯科口腔保健の推進に係るう蝕対策ワーキンググループ 構成員名簿

氏名	所属	役職
あいだ じゅん 相田 潤	東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野 (宮城県保健福祉部)	准教授 (参与)
あきの けんいち 秋野 憲一	札幌市(札幌市保健福祉局保健所)	母子保健・歯科保健担当部長
おさか けん 小坂 健	東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野 (東北メディカルメガバンク機構口腔保健・疫学部門)	教授 (教授)
きもと しげなり 木本 茂成	神奈川歯科大学大学院歯学研究科 口腔統合医療学講座小児歯科学分野	教授
たかの なおひさ 高野 直久	日本歯科医師会	常務理事
たきぐち しゅんいち 瀧口 俊一	宮崎県(宮崎県延岡保健所)	所長
たけい のりこ 武井 典子	日本歯科衛生士会	会長
つげ しんべい 柘植 紳平	日本学校歯科医会	副会長
まき よしのぶ 眞木 吉信	東京歯科大学衛生学講座	教授
みうら ひろこ 三浦 宏子	国立保健医療科学院国際協力研究部	部長